

◇令和三年度卒業論文論題並びに氏名

▽神学科

指導教授 論 題

氏 名

程

熊本 葬祭の諸問題

横田 尚亮

晴山 『修証義』の研究―「受戒入位」を中心に―
―神会の北宗批判を手がかりにして―

酒井 大介
安藤 舜祐

岩永 曹洞宗の修証観

星野 恭寛

熊本 宗教における暴力―コロナ禍の「カルト教団」―
大澤 禅問答の研究―安心問答を中心として―

松田 和貴
志田 興亮

佐藤 太平洋戦争と仏教教団

渡部 暁大

佐藤 日常生活と仏教―主にスポーツを通して―
村松 定朝の寄木造について

石綿 樹
水本 佳孝

程 馬祖禅のジレンマ
―馬祖の語録と思想から読み解く―

大村 雄也

佐藤 現代社会と禅

岡田 光生

程 菩提達磨禅師の研究

益田 孝平

熊本 日本仏教における僧侶の意味

天野 宏淳

佐藤 曹洞宗の修行観とその変遷

松尾 龍星

佐藤 禅宗建築と日本文化

野田永久音

角田 道元禅師と葬送儀礼

中野 舜介

大澤 良寛の詩から見る禅思想

加藤 澄孝

晴山 曹洞宗における在家の葬儀について

阿比留俊晃

熊本 現代の葬祭の諸問題

会田 侃熙

程 菩提達磨の二入四行説について

高梨 博英

村松 日本における梵天・帝釈天の変遷について

小新井花織

佐藤 瑩山禅師と曹洞宗の展開

本田 朱美

角田 道元禅師の生死観

小野村尚道

佐藤 一休禅師と大徳寺の研究

朝木 修司

佐藤 孤雲懷奘禅師と孝順心

後藤 茜

晴山 『赴粥飯法』における食事作法の考察

中村 莉菜

大澤 禅と武道―殺人術から人道へ―

中川 太貴

大澤 現代中国における社会参加型仏教
―浄慧の生活禅運動を中心に―

高野 恵輔

大澤 虎の説話から見える仏教

石橋 萌夏
福澤 翔龍

大澤 現代社会における坐禅の意義

白石 成恭

熊本 仏教と女性

小此木慎一郎

晴山 道元禅師の坐禅観
―「正法眼蔵」「坐禅儀」・「坐禅蔵」を中心に―

平塚 達也

松田 『洞門劇譚』における梅峯竺信の嗣法論について

渡邊 乘意
小原 健矢

佐藤	道元禪師の伝記と思想	鈴木 利基	大澤 十牛図の研究	稲葉 慶伍
程	初期禪宗における東土祖統説の形成	齋藤 寛流	村松 東寺の両界曼荼羅について	高井 佑馬
角田	『正法眼蔵随聞記』の研究	森 優太	松田 江戸期の嗣法制度改革からみた嗣法の現代的意義について	尾島 恭徳
角田	道元禪師の生涯と思想	関口 海	角田 江戸期の禪宗	三浦 見
熊本	女性と仏教	山口 夏織	四津谷 チベット仏教と転生ラマ制度	佐藤 大起
熊本	現代社会の変容と仏教	中沢 宏祥	松田 卍山の未悟嗣法説に対する天桂の批判について	南波 剣司
四津谷	サムイェの宗論について	藤田 開誠	佐藤 瑩山禪師伝の考察	大石 光潤
晴山	―プトゥン『大仏教史』を中心に―	久米 伊織	佐藤 寂円派と中世永平寺	伊藤 玄
佐藤	『赴粥飯法』からみる禪の食事作法について	近藤 修平	角田 『修証義』の研究	福地 真雄
角田	道元禪師の食事観	佐野 暁秀	角田 道元禪師の修行観	内海 太雅
熊本	禪と茶道	小野 瑞月	大澤 禪と茶道文化の繋がり	竹下 開人
大澤	仏教の現代的展開の側面	熊谷 明樹	大澤 禪宗の中の女性	松嶋和珠子
	―稲盛和夫の経営論にみる利他とその背景―	蘆月 真成	程 鳩摩羅什の研究―長安訳経への道のり―	玉水 まい
吉村	道元と本覚思想	佐田 光世	村松 福昌寺蔵「十王経図」について	保坂 康耀
徳野	現代日本における寺院の現状と将来	竹内 一総	徳野 動物の弔いの変遷	吉浦 美幸
八尾	律蔵における食の規則	菊地 大輔	徳野 現代の寺院組織と檀家徒とのコミュニケーション	中村 友瞳
大澤	死の選択における仏教的倫理観	武 翠佑	岩永 禪宗寺院における食事とその作法	潮田 瑞季
四津谷	ツォンカパの仏教倫理観	押見 大俊	▽仏教学科	
	―『菩提道次第論・広本』を中心に―	鈴木 康太	指導教授	
晴山	曹洞宗における食事作法の一考察		論	
晴山	禪における食事作法		題	
	―『赴粥飯法』と『曹洞宗行持軌範』を中心に―		氏名	
				三輪 隆伸

晴山	八大地獄についての研究	中村史巴奈	徳野	沖繩の旧盆	川原 綾夏
金沢	曹洞禪と日本の(食文化)の伝統	浄徳 太輔	佐藤	禪とスポーツ	加賀谷 匠
加納	瞑想における寂靜(santi)の役割についての考察		村松	マリア観音像について	中村 星哉
			吉村	法華経における女人成仏観	庄 媽婷
			大澤	ゴルフ競技への禪の導入と影響	竹入 晟生
程	清規の研究	石河就太郎	木村	「公孫龍子」の検討	
木村	仏教と食について	杉山 広貴		— 仏教研究との関わりにおいて —	弦先 敦也
徳野	空海の生涯と弘法大師信仰	木村 謙伸	村松	法隆寺大宝蔵院蔵「地藏菩薩立像」について	佐原 蒼生
奥野	仏教と武道	小森虎太郎	木村	仏教と武道の関係について	山田 純平
程	鑑真が日本仏教にもたらした影響	中島 和京	金沢	『マハーバーラタ』における誓願の研究	松井 奈緒
佐藤	道元禪師の生涯と禪思想	齋藤 庸仙	村上(明)	最澄の戒律思想に関する研究	亀澤 光
吉村	鳩摩羅什の大乗の目覚め—有から空へ—	江本 奈緒	木村	日本の子供向けメディア文化におけるチベット仏教の影響について	
金沢	アンバー物語考			— 戦隊ヒーローは、如何にして座禪で浮遊するに至ったのか —	
金沢	— インド説話の変身のメカニズムを中心に —	柴田 皆見			石田 遼
	近代社会における宗教的逸脱		程	雲巖曇晟禪師の研究	及川 禪龍
岩永	— 組織構造と黙示録の観点から —	伊藤 駿	程	則天武后と仏教	山村 雄太
佐藤	御朱印の研究	中山 陽雅	吉村	地獄の形成	
角田	現代人と坐禪	松本 昂之		— インド仏教から日本仏教まで —	薄井 翼
村松	道元禪師の思想について	樋口 弘道	徳野	死者供養の変容と現代的意義	鈴木 大仙
	當麻曼荼羅について	戸田 理子	岩永	道元禪師の生涯と教え	岡田 海斗
四津谷	神仏分離・廃仏毀釈についての考察		熊本	涅槃図の研究	出村 光尚
	— 神仏分離・廃仏毀釈において仏教が学んだこと —		奥野	禪と天台止観	渡邊 泰成
程	荷沢神会の研究—その思想の受容に注目して—	山田 萌永	佐藤	道元禪師の生涯と修行観	西方 大空
		信原 典進			

SUKHARADI MONCHAI

村上晶	ユタの祈りと修行	萩島 慧弥	熊本	日本人と宗教の関係性	小椋 綾乃
飯塚	一休宗純の破戒と風狂 —『狂雲集』における破戒と風狂—	前野 悠友	奥野	日本文学と法華経	請盛 寛尚
熊本	第二次世界大戦下における真如親王奉讃会の動向	本田 栗丸	徳野	現代日本の墓をめぐる諸問題について	志保見道皓
吉村	『日本霊異記』における女性と仏教	小野辺美里	藤井	奈良朝写経の造形的特徴について	梅津 祥全
吉村	仏壇の成立	出井 梨音	佐藤	道元禪師とその修行観	浅田 高隆
村松	仏教美術における彩色法	立川裕香子	程	釈道安の研究 —その弥勒信仰を手がかりに—	清水 智大
吉村	聖衆来迎寺蔵「六道絵」の研究	本多 沙良	程	現代中国の宗教政策と宗教の諸相	荒張 智也
松田	『正法眼藏弁註』『嗣書』の巻の文献学的研究 —龍水本と福祥寺本—	與齊 英誇	熊本	現代の葬送儀礼とこれから	北川 旺
奥野	吉蔵における法華経解釈	内山 雄貴	四津谷	チベットにおける慈悲の実践—『入菩薩行論』を中心に—	藤田 周
吉村	提婆達多像の研究	若目田美咲	熊本	近代における仏教と文学 —宮澤賢治を中心として—	永松 怜司
村松	中尊寺金色堂の諸仏について	立花 碧	晴山	『出家略作法』の一考察	坂本 大樹
奥野	日本における宗教観の変化 —若年層を中心として—	笹岡 世成	村松	東寺の不動明王坐像について	南澤 光慶
村松	法隆寺金堂四天王像の邪鬼について	古賀 雪音	徳野	善光寺信仰と街道	鈴木 雄大
岩永	智積院の研究	森田 遥輝	徳野	妖狐と呪い	小俣 明里
奥野	『法華経』における三車・四車の論争	小名木洋正	徳野	新宗教と回心	上條 陽平
松田	『獅子一吼集』における嗣法論について —巳山・梅峯に対する批判を中心に—	安部 諒香	大澤	『醒睡竺』の教化性	大崎 美緒
徳野	臨床宗教師とスピリチュアルケア	高橋 敬尚	徳野	宗教とジェンダー—山岳信仰を中心に—	依田ちひろ
奥野	仏教と日本料理	青柳 宏太	吉村	中世における伊勢神宮と仏教	下鳥 航平
程	玄奘三蔵の研究	宮崎 航大	吉村	日本における墓石の変遷	磯部 良多

TRAN THI THU THAO

- 大澤 明代民間仏教の研究―白話小説を題材にして―
 鈴木 郁泉
- 徳野 猫と日本人
 越川 萌永
- 熊本 中世における仏教と権力
 善如寺真生
- 四津谷 『菩提道次第論・広本』大土の章の研究
 溝口 諒哉
- 四津谷 ―死の準備について―
 小河 直生
- 晴山 曹洞宗における食事作法の考察
 ―仏伝を資料として―
 小川 直生
- 佐藤 禅と食事―精進料理と現代―
 奥出真梨菜
- 村上(明) 新羅僧義湘の研究
 川 香澄
- 徳野 臨死体験とお迎え体験から見た現代人の死生観
 吉川 貴晟
- 徳野 オウム真理教と富士山
 中島 龍平
- 熊本 仏教寺院の今後
 林 賢太郎
- 四津谷 初期仏教にみる仏教思想
 牧野 泰斗
- 吉村 義浄の訳経活動
 秋山 紅葉
- 吉村 『西遊記』猪八戒の研究
 梅林日奈子
- 岩永 仏教と日本社会
 ―花祭りを一例とした儀礼の変遷―
 岩本 陸
- 四津谷 如来蔵・仏性思想について
 ―『如来蔵経』の蓮華の中の如来の喩えについて―
 廣重 倭
- 四津谷 仏教の中にもられる様々な異説
 丸本 健太
- 加納 初期瑜伽行派における仏身論の展開
 ―Asaṅgaの著作を中心として―
 鳥澤 宏翔
- 奥野 日蓮と末法思想
 鈴木 咲来
- 大澤 日本における幽霊観の変遷
 川床 尚平
- 村松 高野山靈宝館蔵『八大童子像』について
 中尾 碧
- 奥野 天台教学における教判について
 松田友美賀
- 岩永 道元禅師の坐禅観
 西山 大登
- 村上(明) 親鸞思想の研究―造悪無碍を中心に―
 横山 侑佳
- 村上(明) 地獄と極楽の研究
 大内 夏葵
- 村松 薬師寺金堂の薬師三尊像について
 吉留 怜那
- 徳野 狼信仰の歴史
 植松 美咲
- 吉村 中国仏教と老荘思想
 奥野 大祐
- 井林 與市